

東急百年新聞

祝

開業！相鉄・東急新横浜線

2023年3月18日に相鉄・東急新横浜線が開業しました。今回はその新横浜線の「新綱島駅」・「新横浜駅」の特徴をまとめます。

新綱島駅は、1、2番線という構造で出ています。

新綱島駅は鶴見川の下にあるため、深く掘られ造られています。そのため写真の通り、地下4階までのエスカレーターや階段がたくさんあります。

また、行先表示機もデジタル化され、改札近くには、桃の木が描かれた背景の色が変わる「デザインウォール」という壁もあります。



撮影・取材日：2023年7月1日 東急新横浜線 新綱島駅



電車撮影：2023年8月13日 Nゲージ模型

新横浜駅は、1、2、3番線という構造で出ています。そのうち2番線は、ホームとホームの間に挟まれています。

ホームから階段を上ると、この駅の建築方法を表彰した賞状が改札の近くにありました。

また、相鉄側の改札は、横浜をイメージしたレンガ調の壁になっており、「横浜ネイビーブルー」の塗装を取り入れていることも含め、相鉄が横浜の地域活性化に取り組んでいることが分かります。

その他、改札の窓口には、両社のキャラクターである「のるるん」と「そっちゃん」がいました。

撮影・取材日：2023年7月1日 相鉄・東急新横浜線 新横浜駅



発行日
2023年(令和5年)
8月24日(木)
聖ドミニコ学院
小学校6年
佐藤 慶人

十年後の東急

東急東横線は、2013年3月まで営団地下鉄(現東京メトロ)日比谷線と相互直通運転し、その先の東武鉄道とも乗り入れをしていました。現在は、相互直通運転を行っていませんが、中目黒駅に線路は、まだ残されています。

NEW

新横浜線を活用した集客

当時使われていた
中目黒駅の線路
撮影・取材日：
2023年7月1日
東急東横線
中目黒駅

撮影・取材日：
2023年7月1日
東急池上線・
多摩川線
蒲田駅
当時使われていた
車両



その列車のルートは、東武鉄道の鬼怒川温泉駅または東武日光駅を出発、北千住駅から東京メトロ日比谷線を直通して、中目黒駅から東急東横線を経由し、新横浜駅へ向かうというルートです。

相互直通運転の効果

- ①新横浜駅は、東海道新幹線に乗り換えも便利であるため、観光地である日光、鬼怒川温泉からのアクセスも良くなります。
- ②東武鉄道は、会津鉄道、野岩鉄道とも接続しており、東北の観光地である会津若松などからの集客も期待出来ます。

未来

東急は、僕が住んでいる宮城県にある仙台国際空港の運営もしています。首都圏の人は、東急がこのような様々な取り組みをしていることをよく知っていますが、それ以外の地域では、東急のことをよく知らない人も多いと思います。そこで、僕は横浜駅、渋谷駅、中央林間駅などの主な駅からJR各社の路線と東急各線を繋ぎ、長距離の特急として東急の列車を全国各地で運行させることで、東急が地域との関わりを深め、全国の人に東急のことをよく知ってもらいたいと考えました。

これまでも東急は、東急グループの伊豆急行の豪華列車「ロイヤルエクスプレス」を北海道や四国で運行しているノウハウがあります。この経験を活かすことによって、東急がより地域に密着した鉄道になると考えています。

そして、百年後、未来の東急は、僕が住んでいる宮城県やその他の地域にも身近で、地域のくらしを豊かにしてくれる便利な鉄道会社、地域に住む僕たちの夢や希望も実現してくれる鉄道会社になっていると思います。また、僕の夢は、あこがれの東急の社員となることです。この夢を実現して、百年後の東急の新しい歴史を刻む一員になりたいです。

夢 百年後の東急

編集後記

夏の高校野球で慶応義塾高等学校が**百七**年ぶりに優勝しました。高校の最寄り駅となる東急東横線「目黒線」・新横浜線の日吉駅では、「慶応義塾高校 感動をありがとう！ 烈火のごとく勝ち進み 優勝！ 優勝！ 優勝！ 優勝！」と行先表示機に表示されたそうです。約**百年前**に日吉の土地を寄付して慶応義塾を誘致したのは、東急の創業者の五島慶太です。五島慶太も優勝と日吉の街のにぎわいを空からながめて慶んでいると思います。



新綱島

Shin-tsunashima 新綱島 せいつなしま

日吉 Hyogo

しんつなしま

新横浜 Shin-yokohama